

むかしのことは分かりませぬが 私でさへも天の香久山を初めて仰ぎ見てからは随分と時が流れました
あの都かの都の先人たちも きっと尊崇の念を抱きつつも 天の香久山に見護られていたのでしょうかね
想えば自分も先の人たちとおなじこと これが 畳なづく青垣山籠れる大和という国の伝統なのです



いにしへの事は知らぬをわれ見ても
久しくなりぬ天の香具山